

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

電動巻上型スクリーン（CGE） （大型ケース仕様） 取り扱い設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上 ご注意

◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



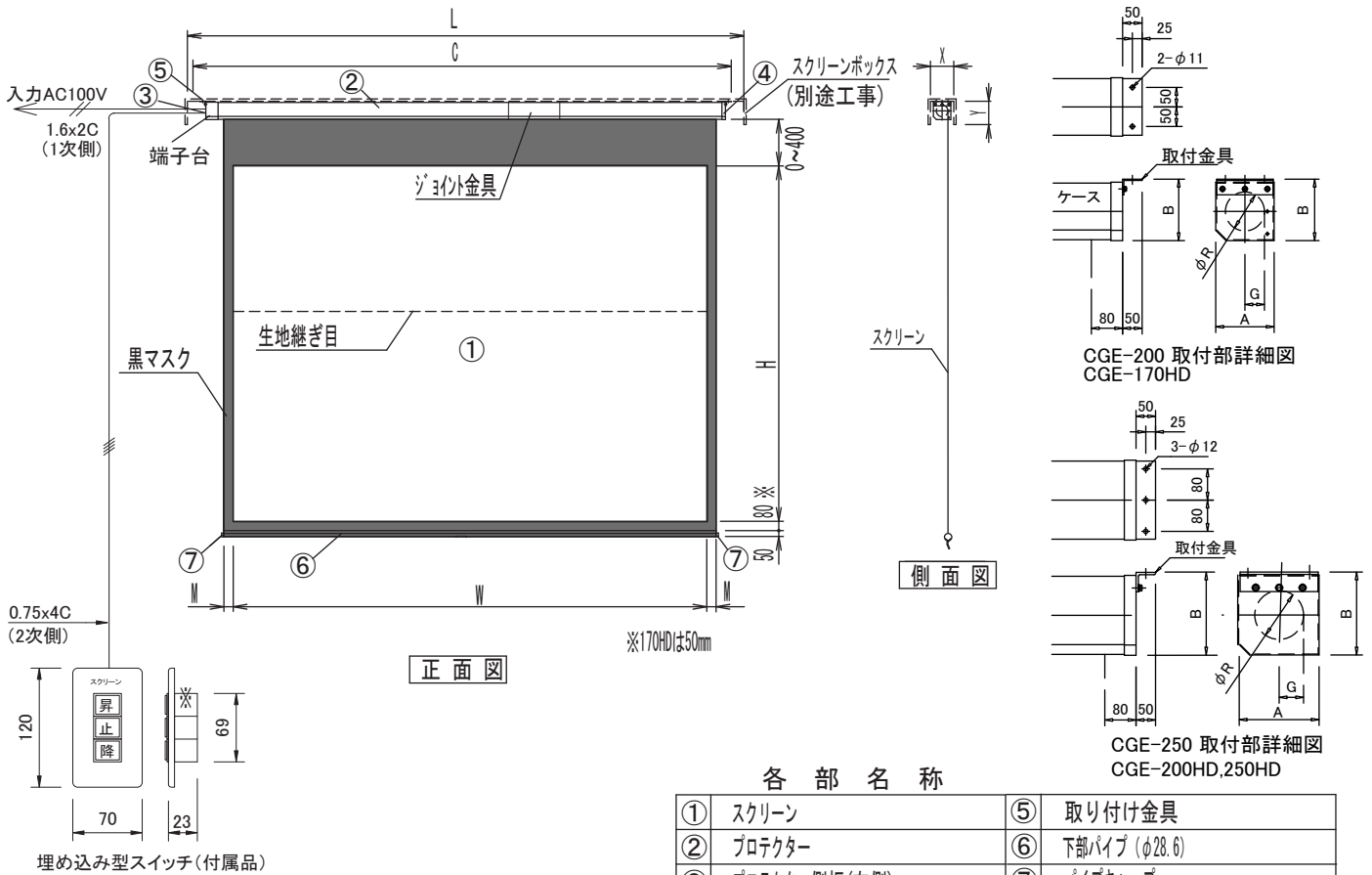
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称と寸法



各部名称

①	スクリーン	⑤	取り付け金具
②	プロテクター	⑥	下部パイプ (φ28.6)
③	プロテクター側板(右側)	⑦	パイプキャップ
④	プロテクター側板(左側)		

スクリーン規格一覧表

(NTSCタイプ 4 : 3 ビース・ホワイトマット)

型番		スクリーンサイズ		外形寸法			生地 継目	ジョイント 金具	G (mm)	R (mm)	M (mm)	モーター 出力 AC100V	ボックス寸法			重量 (Kg)
ビース	ホワイトマット	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)							X (mm)	Y (mm)	L (mm)	
CGE-200G	CGE-200W	4064	3048	150	157	4544	有	無	50	100	80	25W	200	200	4600	52.0
CGE-250G	CGE-250W	5080	3810	205	212	5560	有	有	62.5	125	80		250	250	5600	75.0
CGE-300G	CGE-300W	6096	4572	205	212	6616	有	有	62.5	125	100		250	250	6800	90.0

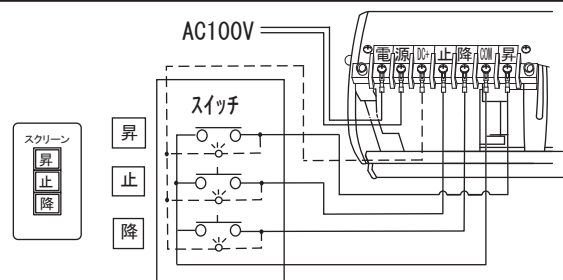
(HDタイプ 16 : 9 ビース・ホワイトマット)

型番		スクリーンサイズ		外形寸法			生地 継目	ジョイント 金具	G (mm)	R (mm)	M (mm)	モーター 出力 AC100V	ボックス寸法			重量 (Kg)
ビース	ホワイトマット	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)	C (mm)							X (mm)	Y (mm)	L (mm)	
CGE-170HDG	CGE-170HDW	3763	2117	150	157	4123	有	無	50	100	50	25W	200	200	4400	44.0
CGE-200HDG	CGE-200HDW	4427	2490	205	212	4907	有	有	62.5	125	80		250	250	5100	65.0
CGE-250HDG	CGE-250HDW	5534	3113	205	212	6014	有	有	75	150	80		250	250	6200	84.0


製品の仕様及びデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。



結線の方法


- 端子台目かくしカバーをはずし電源線、操作線を結線する。
※ 必ず電源線を切って作業してください。
※ 電源線は1.6mm×2(入力AC100V)で、配管線工事は別途です。
※ 操作線は0.75mm×4cで、配管線工事は別途です。
- スイッチを結線して所定の場所に取り付ける。
※ スイッチは埋め込みで、壁埋め込みボックスは別途です。
- 点灯式スイッチをお使いになる場合は、DC+をご使用ください。(別途)
- 最後に結線が正しく行われているか(他の線と触れていないか等)確認しカバーを取り付けて、電源を入れてください。





スクリーン取り付け方法

 警告	スクリーンを設置する壁や天井が石膏ボードや、パーティクルボードなどの場合は、少なくとも200kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
---	--

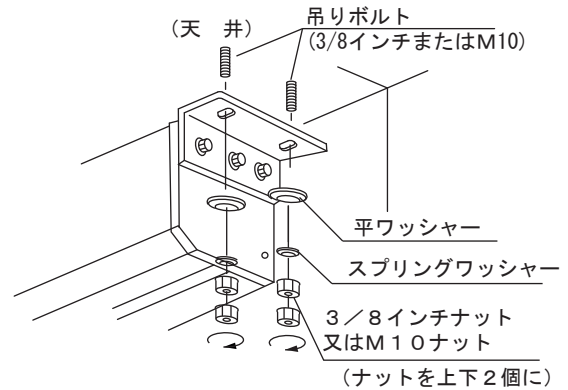
 注意	◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。  ・ボードアンカーのみによる施工 ・ALCアンカーによる吊り下げ 禁止 ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工
---	--

 あらかじめ取付穴芯寸法にて吊りボルト（3/8インチ又はM10）を天井から降ろしておいて下さい。

 固定用のナット類は同梱しておりませんので
 3/8インチ又はM10ナット × 8個～12個
 平ワッシャー × 4枚～6枚
 スプリングワッシャー × 4枚～6枚
 をあらかじめ、ご用意下さい。（ナットは脱落防止の為、2個使いダブルナットでの締付をおすすめします。）

 警告	指定ボルト以外での取付は、お止め下さい。 取付等の不備による脱落の恐れがあります。
---	--

- ◆ あらかじめ取り付け金具穴芯で降ろしてある吊りボルトに取り付け金具の穴位置を合わせます。
- ◆ 平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットの順で締め込みします。
- ◆ 脱落防止の為に、更にナットを締め込みします。（ダブルナット）



(CGE-200の場合)

ご使用方法

スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。スイッチを一度押せばスクリーンの内臓リレーが作動してあらかじめ設定した停止位置まで自動的に動き、停止します。

- (降) スクリーンを使用するとき
スクリーンが自動的に降下して設定された停止位置で停止します。
- (昇) スクリーンを収納するとき
スクリーンが自動的に上昇して収納され停止します。
- (止) 非常停止の必要があるとき
スクリーンを直ちに停止するとき。また、作動中のスクリーンを任意の位置で停止させるとき。



スクリーン停止位置の変更（リミッター調整）

スクリーンの上部黒マスク巾（有効画面上部より金属ケース間）は約400mmに設定されていますが（工場出荷時）、スクリーンケースに内蔵されているリミッターにより御希望の位置に変更する事が出来ます。

スクリーンを下げたい場合（下図参照）

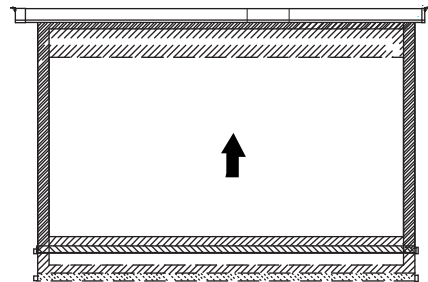
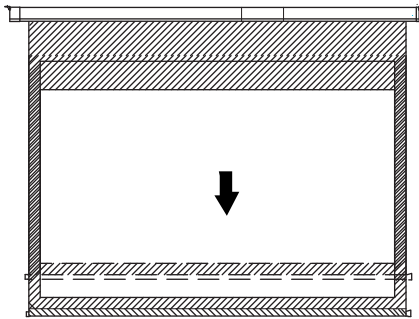
1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. 調整ボリューム白色を反時計廻り（+表示側）へ六角レンチ又は、小さいドライバー等でまわします。
（ボリュームを一回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。）
- 4 御希望の位置になるまで続けて下さい。

スクリーン位置を上げたい場合（下図参照）

1. 調整ボリューム白色を時計廻り（無表示側）に2～3回、まわします。（一回転で約25mm上がります。）
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30～40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. 調整ボリューム白色を、反時計廻り（+表示側）にまわすと一回転でスクリーンは約25mmピッチで下がります。
5. ご希望の位置になるまで続けて下さい。

スクリーンが下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照下さい。

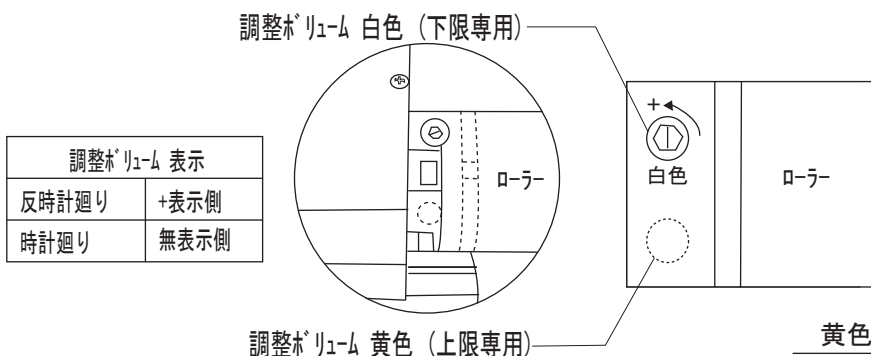


調整ボリューム黄色は、UPリミッター調整用です。工場出荷時に調整してあるので触れないでください。

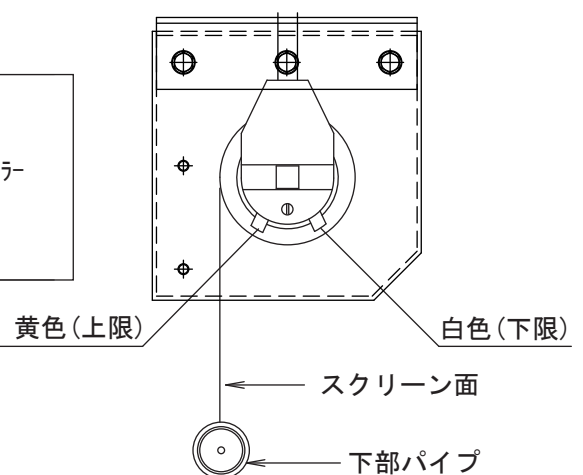


4分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。暫く放置すると（15～20分）、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。（故障ではありません。）

左底面部（下から見た図）



左側面部



通常の設定時は特に調整しないでください。

下部パイプがケースに喰い込んでしまいます。

KIKUCHI SCIENCE LAB 2004. 8. CGE. NW

KIKUCHI

KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL. (03) 3952-5131 (代) FAX. (03) 3953-0051

注意

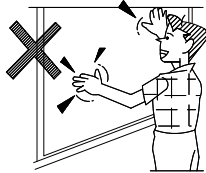
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

- スクリーン面に手をふれないでください。



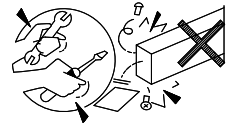
禁止



- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



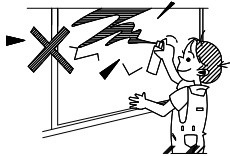
分解禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



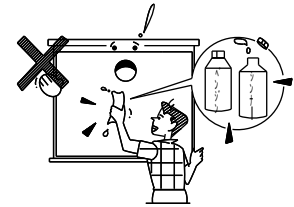
禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



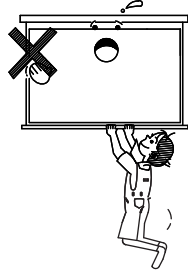
禁止



- ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



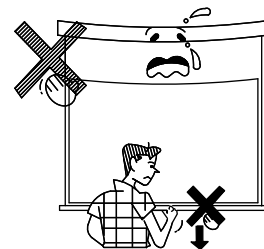
警告



- スクリーンを無理に引き上げないでください。本体または、スクリーンが脱落する恐れがあります。

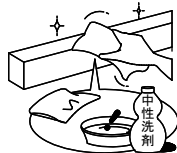


禁止

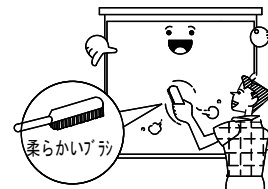


お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。